

アンケート集計結果

※ピア製作委員会からのアンケート一部抜粋

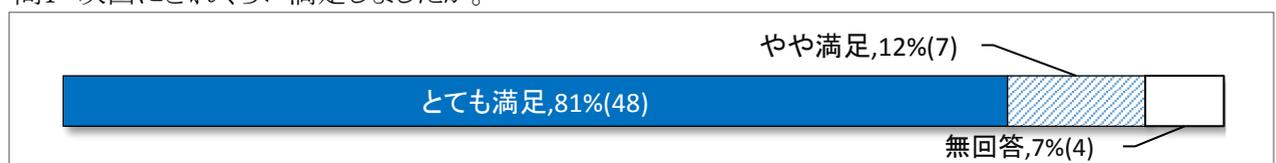
<特別上映会> 「ピア～まちをつなぐもの～」

出席人数	68人
提出人数	59人
回答率	86.8%

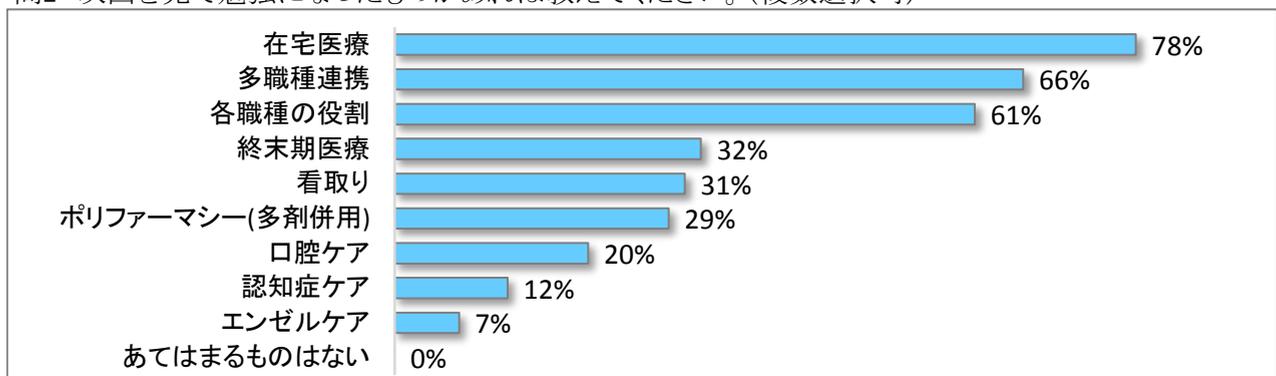
[回答者の職種内訳]

職種	人数	回答率	職種	人数	回答率
歯科医師	2	3.4%	介護支援専門員	16	27.1%
薬剤師	2	3.4%	介護職	9	15.3%
看護師	18	30.5%	公務員	6	10.2%
作業療法士	1	1.7%	学生	1	1.7%
栄養士	1	1.7%	その他	1	1.7%
医療ソーシャルワーカー	2	3.4%			
			計	59	100%

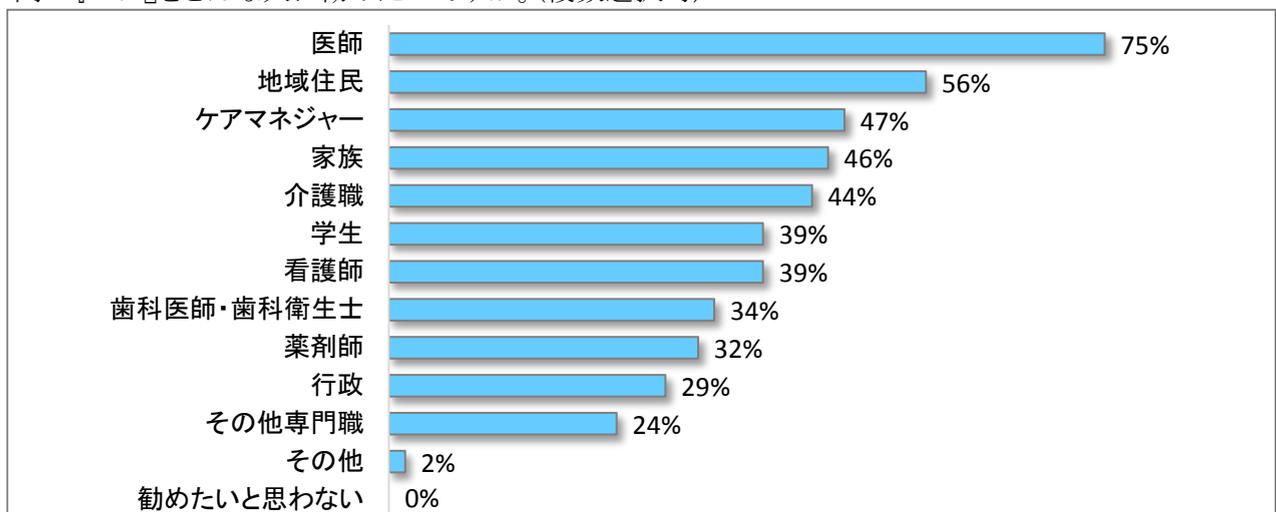
問1 映画にどれくらい満足しましたか。



問2 映画を見て勉強になったものがあれば教えてください。(複数選択可)



問3 『ピア』をどんな人に勧めたいですか。(複数選択可)



問1. 映画「ピア～まちをつなぐもの～」にとっても満足されたと回答された方は、8割を超えた。
 問2. 映画を見て勉強になったものは在宅医療(78%)、多職種連携(66%)、各職種の役割(61%)の順に多かった。
 問3. 『ピア』を勧めたい人は、医師(75%)、地域住民(56%)、ケアマネジャー(47%)の順に多かった。

問4 映画の感想を、ぜひ教えてください。

- 一番好きな場所で、その人らしく生きるために自分ができることをやりたいと感じました。医師との連携は、現実には難しいこともあります。。
- 各職種の在宅での役割や支える側の視点を改めて確認できました。
- とても良い映画でした。「ピア」の大切さ、日々の業務を見直していきたいと感じました。
- リアルな内容が、より今後の在宅医療について考えさせられました。
- 在宅医療は、とても沢山の人が関わって成り立つものだと思います。良い映画でした。これからの参考にしたいです。
- 死は耐え難いものですが、もしこの映画のように患者様の尊厳を重んじ行えるなら、家族の悲嘆も少なくなるのかなと感じました。また、苦小牧は往診するDrが少ないのもっと往診(在宅)ができるDrが増えることを望みます。
- 映画の内容はとても感動しました。とても理想的過ぎて、本当にこんな町があるのかと思いました。でもこれが現実になれば素敵だと思います。
- 在宅での看護を始めたばかりだったので、患者さん、家族の立場になって考えることの大切さ、多職種連携について学ばせていただきました。参考にして仕事をしていきたいと思いました。
- 映画の作り手も、映画を観る人もピアになる作品だと思います。
- 感動して泣けました。自分らしく最期を過ごす為、ピアの方々が本人らしく、心残りを残さずに支援された事。最初の場面で、在宅医療の事を医師が分かっておらず、ただ病気の治療だけを考えているシーンがあった。今、パソコンと睨めっこしている医師は考えて欲しい。顔を見て診療を。
- 本人の意思を尊重しながら、チームケアを通して本人を支えていく物語がとても綺麗でした。最初、主人公のエリート医師は冷たい対応でした。あそこまで変われるのかは、難しいと思います。それが本筋ではありませんが少し気になりました。大学病院の医師の全員が、そのような人ではないとも感じました。
- 在宅医療を支える医師や看護師がもっと増えて欲しいです。
- 人が人らしく「生きていくため」について、自分達が今できる事をチームで考えてケアをするまでの苦悩が描かれていた。
- 多職種連携がよく伝わった映画でした。
- 良かった。心が優しくなれた。連携のイメージが掴めた。
- 各職種の役割が分かりやすく表されており、又在宅医療に携わる人々の葛藤や迷い等が良く表現されていて勉強になりました。
- 「みんなで支え合う世の中にならなきゃならない」というセリフが印象的だった。在宅医療においてチームの必要性を再認識しました。とても良い映画でした。
- この映画を通して在宅医療の意義について学びました。病院まで通えないから在宅にするのではなく、少しでも家族との大切な時間を過ごしたいと考えている患者さんも多いと学びました。僕は理学療法士を目指す学生として、この映画で学んだ在宅医療の意義や多職種連携の重要性について考え、日々の学習に生かしたいです。
- それぞれの職種が働き、チームワークについて分かりやすく描かれていました。もっと手軽に見れると在宅医療に対する理解が深まり広がっていくのかなと思います。
- 多職種連携が何かとても分かりやすく描かれていた。みんなが観るべきだと思います。
- とても感動しました。
- 水野真紀が綺麗で演技も素敵でした。

(問4-続き)

- 良い。そして考えさせられる映画でした。
- 感動しました。多職種の連携は大事だなと感じたし、往診医や病院のDrにも在宅での患者さんについて知ってもらい、ケアに参加してもらえると、より良い介護が受けられるようになると思った。
- 是非、多数の人に観ていただきたい。
- 理想的な在宅の形。苦小牧でも当たり前に来れるようになることを願います。
- 医師が利用者さんの近くにおいて、安心して穏やかに病気と向き合っていける仲間を作る環境に、苦小牧がなればよいなと思いました。
- 色んな人や場面と重なり、ティッシュを忘れたことが失敗でした。とても良い映画だと思います。ありがとうございました。
- こういうサポートができればいいなと感じました。
- 一人一人その人の歩んできた人生や生活が違うので、そのことをしっかり聞き「望んでいることは何なのか」を明確にして、みんな(専門職)で一つになって伴走していきたい！と言う原点がはっきりした映画でした。
- 心のそこから、これが出来たらと思います。
- 様々な職種の方が、一人の方を、そして家族を支えることの素晴らしさを感じました。
- ついついケアプランの連想をしまいながら観ていました。ちょっと現実離れしている部分もありましたが、ピアの意味が平等の語源であり「仲間」ということは、とても刻まれました。良い映画でした。
- 地域でサポートしてくれる体制ができることを望みます。
- とても良かったです。この映画は、多くの人に観ていただきたいと思います。小、中学生にも観ていただきたいです。
- 初心を思い出させて頂きました。看取りをして行く事に「むなしさ」のみを感じていたのですが、「その人らしく」を支えてあげたい気持ちでいっぱいになりました。
- とても良かったです。いい映画でした。
- 病気ではなく患者と向き合うこと、チームで支えるという思いが在宅を続けられる力になるということを感じました。
- 大学病院を辞め、町のお医者さんになり、在宅診療を始め、どんどん変化していくDrの姿にとても感動しました。あんなDrが増えて欲しい。
- 初めてケアマネになった頃の事を思い出しました。道は廊下、病院は家！私も施設から飛び出し居宅のケアマネになりました。今の担当の利用者さんで365日デイサービスに行きながら要介護5で生活されています。最後まで自宅で生活されるように頑張っていこうと思ってます。
- 自分にできることは何かと最近よく考えることが多いのですが、この映画を観て、まずはこの気持ちを持つことが大事だということが分かった。
- 医師の患者さんへの思いが徐々に変化していき、知らないことでの対応とは変わっていくところが分かった。こんな理想的なチームが当たり前のように沢山できたらいいと思い感動しました。
- 人がどう生き切るのか、自分の好きな場所で好きな人達とどう最期を迎えるのか、本当に考えさせられました。多職種の連携がある事でここまで人としての尊厳を守り抜く事ができるのです。是非、苦小牧で実現させましょう。とても心が暖かくなりました。ありがとうございました。
- とても良かったです。一人でも多くの方に在宅医療について理解してもらえると嬉しいです！
- 多職種連携の必要性について学ぶことが出来ました。(頭で理解はしていたが心で理解することができました。)感動しました。今日の学びを仕事への意欲に繋げていきたいです。

問5 今回の上映会にメッセージがあれば、お願いいたします。

- とても勉強になりました。ありがとうございます。
- また違うものを見てみたいと思いました。ありがとうございました。
- 仕事の励みになるので定期的に観たいと思いました。ありがとうございました。
- お疲れさまでした。素敵な映画をありがとうございました。
- 苫小牧で町を繋ぐために何をしていくのか、一緒に進めていきましょう。
- この度はこのような機会を設けていただき、ありがとうございました。この映画を通して医療従事者として患者さんに何をしてあげられるかを学びました。僕はまだ理学療法士を目指している学生の立場ですが、この上映会で学んだことを生かし、日々の学習に励んでいきたいです。
- 心温まる内容でした。このような事が地域で行われるよう願います。
- 面白かった。映画の世界に引き込まれた。いろんな人の目線に立って観れた。
- 地域住民にもっと広めて欲しいです。
- ありがとうございました。感動しました。
- ありがとうございました。良い時間を過ごせました。
- 私は全く耳が聞こえませんが、今回の上映会をどうしても見たくて字幕をつけて頂いた配慮に大変嬉しく思いました。本当に有難うございました。
- 地域で人を支える体制が多職種で整っていることは、必要であると思いますが、現実ほどの程度手厚く準備されているのか知りたいと思いました。
- 日々の業務から離れて新鮮な気持ちになりました。ありがとうございました。
- 多くの方が観られると良いですね。
- 自分の役割について考えるきっかけとなりました。「ありがとう」「う・ま・い」「花言葉」・・・感動しました。
- 又苫小牧でケアニン等の上映会があれば、ぜひ参加したいです！
- お疲れ様でした。大変素晴らしい映画でした。また、よろしくお願い致します。